

令和6年度(第30期) にいがた市民大学講座プログラム(案)

(1) 後期ゼミ実施を前提とする長期講座【前期8~10回、後期あり】(調整中)

	コース名	講座名	講座概要		主な受講対象者 (世代など)	提案者
前回案	新潟学	もっと知りたい！新潟の「酒」	趣旨	新潟＝日本酒のイメージだが、全国第一号地ビール誕生の地だったり、全国的にも注目を集めるワイナリーリゾートがあったり、異業種参入でウイスキー醸造を始める企業があったりと、日本酒以外の酒でも十分アピールできる土地だと思う。また近年「クラフトサケ」の製造も開始され注目を集めている。それぞれの酒の魅力や新潟という土地とのかかわり、そしてこれからの展望などを、作り手や研究者などから聞き、知識を深める。 想定コーディネーターは新潟大学日本酒学センターの渡辺英雄先生です。	若い世代から年配の方までお酒が好きな人	霜鳥委員
	新潟学	日本酒学 Part 2		市民大学でも好評であった「日本酒学」のPart 2となる講座である。県内酒蔵では新たなマーケットの開拓、新商品の開発、酒蔵見学やイベント等にも力を入れ、新潟県の代表する産業と成長している。新潟大学の日本酒学センターの協力を得ながら、日本酒を軸とした地域文化について専門家から論じてもらう。講座内容は、日本酒に関するマーケティング戦略、原材料や醸造技術の側面から、日本酒の歴史、日本酒の海外進出、酒蔵建築等で講座を組み立ててゆく。		橋本委員
修正案	新潟学	もっと知りたい！新潟の「酒」	趣旨	上記2案をミックスした内容で、ビールやウイスキーなど日本酒以外も含めた新潟県の酒について様々な視点で学ぶ。 なお、詳細は講座コーディネーターと協議の上、決定。		橋本委員 霜鳥委員
			各講義回の内容	未定。講座コーディネーターと協議の上、決定。		
			コーディネーター候補	岸保行氏 (新潟大学日本酒学センター 副センター長 / 経済科学部 准教授) 渡辺英雄氏 (新潟大学日本酒学センター 社会・文化ユニット 助手)		
			その他			

(2) 対面とオンラインのハイブリッド講座（見逃し配信）【5～6回、後期なし】（調整中）

	コース名	講座名	講座概要		主な受講対象者 (世代など)	提案者
前回案	現代の 社会問題	コロナ禍は世界 をどう変えたの か？	趣旨	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるパンデミックを経験し、各国の政治や経済、社会は何が変わり、何が変わらなかったのだろうか。本講座では、命と経済のいずれを優先するのか、その両立は可能なのかという問題を軸に、日本を含む各国政府のコロナ対応を検証する。具体的には、各国政府の政策とそれに対する国民の反応、それがどのような結果を招いたのか、国ごとにどのような違いが生じたのかを、各国の専門家が解説する。</p> <p>日本以外にどの国を取り上げるかについては、受講生の関心の高い地域（東アジア・東南アジア諸国？）や、主要先進国だけでなく報道されることの少ない国々など、他の運営委員の意見を伺いながら絞り込みたい。</p>	国際情勢や現代の社会問題に関心を持つ一般の方々	
	現代の 社会問題	グローバル化する独裁		<p>2022年時点で世界の89カ国が独裁（権威主義）体制とみなされており、世界人口の72%がそこに暮らしている。独裁体制と聞くと強権的で剥き出しの暴力を組織する専制というイメージが強いと思われるが、むしろ最近では民主的な政治制度や法律を巧みに利用した統治を行う国々が増えている。</p> <p>こうした国々はどのような行動原理や統治の仕組みをもつのだろうか。本講座では、民主主義体制に比べて学ぶ機会の少ない独裁体制の基礎を、世界的な潮流と各国の具体的な事例とともに学ぶ。取り上げる国々は、新潟とも関わり深いロシアや中国、北朝鮮のほか、ベトナムやミャンマー、タイなど、受講者の関心が比較的高いと思われる東南アジア諸国を想定している。</p>	政治や国際情勢（とくにアジア）に関心を持つ一般の方々	
修正案	現代の 社会問題	民主主義の後退 とグローバル化 する独裁	趣旨	<p>いま世界では民主主義が後退し、権威主義的な国々が増えています。2022年時点で世界の89カ国が独裁（権威主義）体制とみなされており、世界人口の72%がそこに暮らしています。独裁体制と聞くと恐怖政治をイメージするかもしれませんが、しかし、最近では民主的な政治制度や法律を巧みに利用した統治が主流です。また、新型コロナウイルス感染症への対応では、市民の権利と自由を強制的に制限する権威主義国家の優位性が度々、強調されてきました。</p> <p>こうした国々はどのような行動原理や統治の仕組みをもつのでしょうか。本講座では、民主主義体制に比べて学ぶ機会の少ない独裁体制の基礎を、世界的な潮流と各国の具体的な事例とともに学びます。受講者の関心が比較的高いと思われる東アジア・東南アジア諸国を中心に取り上げる予定です。</p>	政治や国際情勢（とくにアジア）に関心を持つ一般の方々	山田 委員
			各講義回 の内容	第1回は独裁（権威主義体制）に関する理論的側面を基礎から学び、第2～6回は各国の具体的な事例を学びます。その際、可能であれば各国のコロナ対応にも言及してもらおうと思います。		
			コーディネーター 候補	山田紀彦氏 (日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター・動向分析研究グループ長)		
			その他	コーディネーター候補には9月13日に説明・相談する予定です。		

(3) 対面とオンラインのハイブリッド講座（見逃し配信）【5～6回、後期なし】（調整中）

	コース名	講座名	講座概要		主な受講対象者 (世代など)	提案者
前回案	新潟学	マンガ・アニメ文化と新潟	趣旨	新潟は数多くのマンガ家・アニメクリエイターを輩出しており、マンガ・アニメ情報館やマンガの家などの設置を始めとして、マンガ・アニメ関連の統合的大規模イベント『がたふえす』も10年以上の歴史を持つものとして広く知られている。行政でも「新潟市マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」を2012年に発出し、現在はその第2期（2024年3月まで）でもあり、産学官の連携を推進している。 実務家育成のための専門学校・大学の教員（多くが実際に制作に関わった方々）などを講師とするもののほか、映像文化論を専門としてアニメを研究対象とする研究者（石田美紀教授、新潟大学アジア連携研究センター長）などにも協力いただきたい。最近話題になっている、アニメを精神疾患などの治療に活用しようという動きなども紹介できればと良いと思う。	にいがた市民大学の受講者の新たな掘り起こしとして20代～30代を狙いつつ、各授業回では昔人気だったマンガ・アニメ・映画の製作に携わった日方々を講師とすることにより、40代～50代の参加者拡大にもつなげる。	
修正案	新潟学	マンガ・アニメ文化と新潟	趣旨	新潟は数多くのマンガ家・アニメクリエイターを輩出しており、現在は「新潟市マンガ・アニメを活用したまちづくり構想」第2期として、産学官の連携が推進されている。2023年3月には第1回 新潟国際アニメーション映画祭が開催され、国際的な発信力強化も図りつつある。本講座ではアニメ・マンガが持つ潜在的な力や学術的な側面について触れるとともに、製作者がどのようにして魅力的な世界観を創造しているのかを知っていただけるような講義を行う予定である。	世代、性別を問わず、多くの方々に興味を持ってもらえる内容であろう。高校生などにとっても進路選択などに役立つ可能性がある。	富永委員
			各講義回の内容	コーディネーターを務める石田美紀先生のほか、堀越謙三先生（開志専門職大学アニメマンガ学部長、映画プロデューサー、新潟国際映画祭にも関与）、パントー・フランチェスコ先生（医師、アニメ療法を提唱）、渡部英雄先生（アニメ演出家）、山賀博之先生（映画監督、脚本家）のほかにマンガ家にも登壇いただけるよう打診する（全6回で構成）。		
			コーディネーター候補	石田美紀氏（承諾済） （新潟大学教授、アジア連携研究センター長（アニメアーカイブ担当））		
			その他			

(4) 夏休み子供向け講座【3回程度】(調整中)

	コース名	講座名	講座概要		主な受講対象者 (世代など)	提案者
前回案	新潟学	郷土料理からみる新潟	趣旨	新潟の代表的な家庭料理である「のっぺ」や、保存食として戦国時代からはじまったといわれる新潟を代表する「笹団子」など、新潟にはさまざまな郷土料理があります。信濃川と阿賀野川の2大河川があり、夏の高湿多湿な気候で、お米の一大産地として知られる自然豊かな新潟を、郷土料理から再発見しましょう。	全世代	中村 (恵) 委員
修正案	新潟学	親子で作る 新潟の郷土料理	趣旨	新潟の代表的な家庭料理である「のっぺ」や、保存食として戦国時代からはじまったといわれる新潟を代表する「笹団子」など、新潟にはさまざまな郷土料理があります。親子で郷土料理を作り、新潟のよさを再発見しましょう。	新潟市内の小学 3~6年生とその 保護者	
			各講義回 の内容	<案> ・しょうゆおこわ ・笹団子 ・のっぺ		
			コーディネーター 候補	海津夕希子氏 (新潟青陵大学短期大学部人間総合学科 教授)		
			その他	全3回 定員は12組 受講料+材料費を徴収		